

令和元年5月23日
於
府中市立教育センター

令和元年第5回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和元年第5回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和元年5月23日(木)

午後2時00分

閉 会 令和元年5月23日(木)

午後3時03分

2 議事録署名員

教育長 浅 沼 昭 夫

委 員 平 原 保

3 出席者

教育長 浅 沼 昭 夫 委 員 松 田 努

委 員 日 野 佳 昭 委 員 平 原 保

委 員 新 島 香

4 欠席者

なし

5 出席説明員

教育部長 赤 岩 直 文化スポーツ部長 五味田 公 子

教育部副参事兼指導室長 文化生涯学習課長 古 田 実

並 木 茂 男 ふるさと文化財課長 江 口 桂

教育総務課長 佐々木 和 哉 市史編纂担当主幹 英 太 郎

教育総務課長補佐 遠 藤 公巳明 スポーツ振興課長 市ノ川 恵 一

学校施設課長 山 田 英 紀 スポーツ振興課長補佐 青 木 達 也

学校施設課長補佐 町 井 香 図書館長 酒 井 利 彦

学務保健課長 佐 伯 富 丈 図書館長補佐 平 野 妙 子

給食センター所長 谷 本 耕 一 美術館副館長 相 馬 修 央

指導室長補佐 鈴 木 正 憲

統括指導主事 田 村 貴代美

統括指導主事 吉 田 周 平

指導主事 蓮 沼 喜 春

指導主事 國 廣 淨 和

指導主事 柴 崎 大 輔

6 教育委員会事務局出席者

教育総務課係長 矢 島 彩 子

教育総務課主任 元 村 考 呂

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第25号議案

臨時代理による処理の承認を求めることについて

(令和元年度学校医の変更について)

第26号議案

府中市図書館協議会委員の委嘱について

第4 報告・連絡

- (1) 令和元年度府中市教育委員会における主な取組について
- (2) いじめの重大事態に関する報告について
- (3) 第9期府中市生涯学習審議会委員の構成について
- (4) 市制施行65周年記念郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について
- (5) 市史刊行物「新府中市史 資料編」の発行について
- (6) 市史刊行物「府中市史編さんだより」第7号の発行について
- (7) 2019ボールふれあいフェスタの開催について
- (8) 第30回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について
- (9) 府中市立図書館サービス検討会議報告書について（第四期）

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、令和元年第5回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、私のほか平原委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 本日の報告連絡の2番は個人情報に係る案件ですので、非公開扱いとし、議事進行の都合上、議事日程の最後に報告連絡することとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第7 教育委員報告の後、定例会を中断し、非公開会議で定例会を再開して、本件を報告連絡いたします。

傍聴の方に申しあげます。本日の報告連絡の資料2につきましては、個人情報が記載されているため、配布しておりません。また、報告連絡の資料3につきましては、個人情報を含むため、資料を一部省略して配布しておりますので、ご承知おきください。

_____ ◇ _____

◎第25号議案 臨時代理による処理の承認を求めることについて

（令和元年度学校医の変更について）

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第25号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○学務保健課長（佐伯富丈君） それでは第25号議案「臨時代理による処理の承認を求めることについて（令和元年度学校医の変更について）」につきまして、お手元の議案書に基づきご説明させていただきます。

令和元年度の学校医・学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱につきましては、既に平成31年1月17日開催の第1回教育委員会定例会にてご承認いただいておりますが、府中市立府中第一中学校の学校医の先生から退任の意向があったため、新たに府中市医師会からご推薦いただいた先生に委嘱をお願いするものでございます。本来であれば学校医の委嘱につきましては学校保健法第23条の規定に基づき、教育委員会が行うものでございますが、学校医不在による保健衛生業務への影響等を考慮すると、特に緊急を要する事項であり、委員会を招集する時間的余裕がないことが明らかであったため、府中市教育委員会の権限委任等に関する規則第6条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に処理事務を代理いたしました。本件に

つきましては先の規則第6条第2項の規定に基づき、臨時代理による処理の承認を求めるものでございます。臨時に代理した事務につきましては議案書2ページに記載のとおり、府中第一中学校の学校耳鼻科医であります大山和男先生の退任に伴い、齋藤晋先生を府中第一中学校の学校医として委嘱いたしました。委嘱期間は令和元年5月1日から令和2年3月31日までとしております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。よろしいですか。

ご意見はございますか。よろしいですか。

それでは、お諮りします。第25号議案「臨時代理による処理の承認を求めることについて（令和元年度学校医の変更について）」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので原案どおり決定いたします。



◎第26号議案 府中市図書館協議会委員の委嘱について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして第26号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○図書館長補佐（平野妙子君） ただいま議題となりました第26号議案「府中市図書館協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。議案書の裏面をご覧ください。

本協議会は、府中市図書館条例第6条第1項の規定に基づき、新たに本年4月1日に設置し、その委員につきましては教育委員会が委嘱するものでございます。委員の選任につきましては同条第2項及び第3項の規定に基づくもので、その構成内訳は学校教育及び社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者を基本に、公募市民を含む資料に記載しております10人の委員の皆様でございます。

委員の任期は同条第4項の規定により2年でございまして、令和元年5月28日から令和3年5月27日までの期間でございます。そして、本協議会の運営につきましては、同条例施行規則第16条第1項に掲げる図書館の運営に関し、館長の諮問に応じ審議し、答申するほか、図書館の行う図書館奉仕につき館長に対して意見を述べることとなっております。

以上、府中市図書館協議会委員の委嘱に関します説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 任期の5月28日という中途半端な日にちについて何か意味がありますでしょうか。

○図書館長補佐（平野妙子君） この図書館協議会は本年度初めて設置をしたものでございます。まずは委員の推薦、それから市民公募の応募という事務手続と教育委員会においてこの決定をいただくという事務処理がございましたので、今の時期になったものでございませ

て、本日、議決をいただきました後、第1回の協議会を発足したいと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにご質問いかかでしょうか。

ご意見はございますか。よろしいですか。

それではお諮りします。第26号議案「府中市図書館協議会委員の委嘱について」決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので原案どおり決定いたします。



◎令和元年度府中市教育委員会における主な取組について

○教育長（浅沼昭夫君） それでは日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（遠藤公巳明君） それでは報告・連絡事項の（1）令和元年度府中市教育委員会における主な取組についてご説明させていただきます。

教育委員会では、当該年度における主な取組を担当課ごとにまとめて公表しており、このたび資料1のとおりご報告するものでございます。令和元年度の主な取組の総数は42で、このうち積極的・重点的に行う取組は学校施設の保全及び保全計画の立案、新学習指導要領への移行支援、平和啓発事業など13の取組、新たな取組といたしましては、市立図書館の次期運営手法の検討がございます。これらの取組内容に対する点検及び評価につきましては、来年度学識経験を有する方の意見の聴取をしながら報告書としてまとめていく予定でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの件につきまして何かご質問、ご意見あわせてございましたらお願いします。新島委員、どうぞ。

○委員（新島 香君） 児童・生徒の増加している学校において、空き教室等が無くなっているところが数校あると伺っております。その中で少人数制の数学でしたりとか英語でしたりとか、そういった授業を教室がない関係でなかなか進行できていない、難しいというお話も伺ったりするのですけれども、この学校施設の保全及び保全計画の立案または校舎の老朽化の対策というところで、現在の校舎のほうで空き教室をうまく作り出すような方策等、もしあれば伺えればと思います。

○学校施設課長（山田英紀君） 新島委員がおっしゃっていただいたように、非常に教室が少ない学校がございまして、少人数教室、種目別の授業は展開が難しいというお声をいただいているところでございます。基本的には学校長からご連絡をいただいた場合に、既に少人数教室を1教室確保しているところをパーティションで区切って2つにするなど、場合によっては一部倉庫だったようなところを改修して学習室にするなど、個別に各学校で対応しているところでございます。できる限り学校側の要望を聞きながらさまざまなスペースを改修し、少人数教室に活用ができるよう教室を確保しているのが現状でございます。

第八小学校、第一中学校の改築についても十分考慮して提案を行っていく予定でございますが、今後も少人数教室の確保につきましては、個別の対応となると思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。平原委員、どうぞ。

○委員（平原 保君） 9番、新学習指導要領への移行支援とあります。これは学校においても非常に重要な課題だと思いますが、現段階で具体的な支援でいくつか挙げられるものがあれば、教えていただければありがたいなと思います。以上です。

○統括指導主事（吉田周平君） まず一番大きく力を入れておりますのは、小学校の英語科への対応という形でございます。こちらのほうは第七中学校区で、中学校から英語の講師を派遣し、小学校の授業を中学校の先生が行うという形で進めておりまして、今年度は、その取組で教えた子どもたちが中学校に入ってくる年で、完全実施の前の1年前でございますが、各学校が実を結んできているところでございます。また、中学校のそれぞれのイマージョン・プログラムと申しますか、英語をどのように使っていこうといった取組も、小学生で習ったことを中心にできるようなことを中学校で実施していただくなど、そういった取組がいくつかあります。また、プログラミング教育に関しては、プログラムを組むことが教育ではなく、その考え方というところで矢崎小学校にモデルとなっていておりまして、その取組を昨年度1年間大きく広めているところでございます。

今、大きく2つの取組をお話させていただきましたが、そういった新しい教科に重点して、現在学校で取り組んでいるところでございます。

○委員（平原 保君） ありがとうございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。それでは、報告・連絡（1）について了承といたします。



◎第9期府中市生涯学習審議会委員の構成について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（3）を文化生涯学習課、お願いします。

○文化生涯学習課長（古田 実君） それではお手元の資料3に基づき、「第9期府中市生涯学習審議会委員の構成について」ご報告いたします。

本年第4回府中市教育委員会定例会において、平成31年4月1日から2年間を任期とする15名の委員の報告をさせていただきましたが、去る4月26日に開催いたしました第1回府中市生涯学習審議会において、会長及び副会長が互選されたほか、学校教育分野における委員が決定いたしましたのでご報告するものでございます。

会長に明治大学大学院教授の長畑誠氏が、副会長に東京外国語大学大学院教授の佐野洋氏が選任されました。また、学校分野における委員は、府中第七小学校校長の渡邊和子氏が決定をいたしました。なお、ほかの委員構成につきましては記載のとおりでございます。

以上で説明を終了させていただきます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの件につきまして何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（3）について了承といたします。



◎市制施行65周年記念郷土の森博物館「あじさいまつり」の開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（4）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） それではふるさと文化財課から資料4に基づき、

「市制施行65周年記念郷土の森博物館『あじさいまつり』の開催」につきましてご報告いたします。

郷土の森の博物館の園内では1万株30種類のあじさいが5月末から色づき始め、6月の半ば頃には見頃を迎えます。会期を5月25日土曜日から6月30日日曜日までとしてあじさいまつりを開催します。期間中はあじさい工房であじさいの飾りづくりや、お茶室ではこの期間限定のあじさい餅が楽しめる、呈茶が楽しめるほか、あじさいコンサートとして武蔵国府太鼓の演奏会や篠笛の演奏会など、多彩なコンサートを実施いたします。ぜひともあじさいまつりへのご来場をお待ちしております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの件につきまして何かご質問、ご意見ございますか。よろしいですか。

それでは報告・連絡（4）について了承をいたします。



◎市史刊行物「新府中市史 資料編」の発行について

◎市史刊行物「府中市史編さんだより」第7号の発行について

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして報告・連絡（5）と（6）を一括してふるさと文化財課、お願いします。

○市史編纂担当主幹（英 太郎君） ふるさと文化財課市史編纂担当より報告・連絡（5）と（6）についてあわせてご報告をいたします。

初めに、お手元の別紙資料5と委員におかれましては冊子をご覧ください。このたび刊行いたしました「新府中市史資料編」は原始・古代資料編1、資料編2及び近現代資料編の3冊でございます。B5判箱入りの冊子3冊になります。いずれも市史編さん事業の調査で収集した各時代の資料を収録して刊行物としたものでございます。歴史的な資料としては古文書、遺跡から発掘された遺物、保存されてきた物や記録などさまざまな形のものがありますが、こうした資料の中から各時代の歴史について専門的な学識経験や知識を持つ研究者が、専門部会において精度の高い作業を行い、本市の歴史を考える上で重要と考えられる資料を選び出しました。選び出した資料を専門家だけでなく、市民にも理解しやすいようにまとめ直し、資料として掲載したのが今回発行の資料編でございます。

黒い表紙の原始・古代資料編1には、市内の遺跡から発掘された先史時代から古墳時代にかけての考古資料を中心に掲載し、原始・古代資料編2には古代武蔵の国や本市の歴史的原点と位置づけられる武蔵国府にかかわる文献資料や文字資料を中心に掲載しています。また、茶色の表紙近現代資料編には明治の初めから昭和の戦前までの記録資料を掲載いたしました。この中には本市が歴史的公文書として保存し、東京外国語大学公文書館と協働して整理した旧町村時代の資料や市民から提供していただいた資料も多数収録されております。

市史編さんの事業では、これらの資料編に掲載いたしました学術的価値が高いと考えられる最も確かな歴史的資料を基礎として市史を編さんし、最終的に本市の歴史の全体像を新府中市史通史編でまとめてまいります。このたびの資料編3冊につきましては市内の小・中学校で校長先生を始め先生方に、また学校図書館で児童・生徒の皆さんにご利用いただきたいと考えておりますので、各校に2セットずつお届けをしております。なお、そのほかに図書

館や市内の主な施設、関係者、協力団体に配布するとともにふるさと府中歴史館を始め、郷土の森博物館、市政情報センター、市民相談室、観光情報センターにおいて各2,000円で頒布をいたします。広報誌では6月1日号でお知らせをいたします。

次に、お手元の別紙資料6をご覧ください。市史編さんだよりの第7号を発行いたしました。今回はふちゅう温故知新では是政を取り上げ、部会長インタビューでは自然専門部会の三上岳彦部会長のお話を掲載し、第5回市史講演会の民俗専門部会による講演の様子を掲載いたしました。編さんだよりは市政情報センター、市民相談室、市立図書館、郷土の森博物館、そしてふるさと府中歴史館で配布しておりますとともに、バックナンバーも含めて市のホームページの市史編さんのコーナーでご覧いただくことができます。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいま2件報告がございました。何かご質問、ご意見ございますか。

新島委員、どうぞ。

○委員（新島 香君） 今回制作されましたこの資料編、大変立派な資料だと思います。こちら学校図書のほうに今2セットずつ配布していただけたということだったのですけれども、児童・生徒の皆さんがそういったものが学校のほうに配置されたということがわかるように、学校のほうでもぜひ学校だよりなどで生徒や保護者の皆さんに周知していただけたような手はずも取っていただければ、なお皆さんの目にとまると思います。ふるさと学習において大変貴重な資料だと思いますので、極力多くの方に見ていただけたようなPRをしていただけたとありがたいと思います。お願いします。

○市史編纂担当主幹（英 太郎君） 今回の資料、教材としていろいろな内容が含まれておりますので、ぜひ学校で使っていただきたいということでPRも兼ねてお願いをいたします。また、学校のほうへ今、配布をほぼ終わる段階まで来ております。学校にお届けをして活用していただけるようにさらにPRをまいります。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

平原委員、どうぞ。

○委員（平原 保君） 重複しますけれども、今、説明を聞きながら近代・現代のところを教育だけのページを見たのですけれども、当時の運動会の様子ですとか、教科書ですとか時間割等、非常に興味深いものが見えたなと思います。ですから、ぜひこれ、先生方も教育というものに携わっている職業にある者が、明治の初期から明治中期・後期と分かれて書いてありましたけれども、こういったものを先生方もぜひ、忙しい中ですけれども、教育の歴史を見ることは大事な事かなと思いました。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。日野委員、どうぞ。

○委員（日野佳昭君） 意見ですけれども、かなり細かい資料で、作るのは大変だったと思うのですけれども、小学生がちょっと手に取って見るという想像が付きません。中学生でようやく理解できるぐらいかなと思います。ダイジェスト版といいますか、子ども版ができるといいなと思いました。立派な本で大変だなと思います。ご苦労さまでした。

○市史編纂担当主幹（英 太郎君） 今回は、資料編は通史編の基礎となる原資料に近いものですので、かなり内容が難しいものがございます。そうしたこともございますので、現在、

絵を中心として子どもにわかってもらえる資料を作成中でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにはいかかでしょうか。

○委員（新島 香君） 昨年度ある小学校の学芸会で、低学年が見ていてもわかるような内容で府中市の歴史に基づいた劇をやった学校がございました。その学校では郷土の森博物館でお話を聞いてきて、シナリオをつくるといったことをされていたと聞きましたので、そういう学芸会とかの中で小学生が府中の歴史を噛みくだいて学べるような、そういったところにも活用されていくのかなと思います。ぜひ、ご利用いただけるように手はずを組んでいただければと思います。お願いします。

○市史編纂担当主幹（英 太郎君） ぜひ、子どもたちにふるさと学習の一環として市史を使っていたきたいと思っておりますので、難しい部分もあるのですが、わかりやすいものも含めてPRをして積極的に使っていただけるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいでしょうか。それでは報告・連絡（5）と（6）について了承いたします。



◎2019ボールふれあいフェスタの開催について

◎第30回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催について

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（7）と（8）を一括してスポーツ振興課、お願いします。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） それでは、スポーツ振興課より2件、一括してご報告をさせていただきます。

まず、資料7の「2019ボールふれあいフェスタの開催」についてでございますが、本事業は、子どもたちに日本トップレベルのスポーツ選手と触れ合う中で、スポーツが持つ楽しさを体験してもらうことを目的として開催しており、今年度につきましては6月2日の日曜日に郷土の森総合体育館の第2体育室及び郷土の森サッカー場の人工芝グラウンドで開催いたします。

16回目となる今回も東芝ブレイブルーパス、サントリーサンゴリアス、アルバルク東京、FC東京、府中アスレティックフットボールクラブの各トップチームと市内の関係団体のご協力のもと実施いたしますが、今年度はラグビーワールドカップの気運醸成としてラグビーエキシビションを人工芝グラウンドで実施するほか、パラリンピック種目であるボッチャの体験コーナーも体育館内に設ける予定としております。

なお、総合体育館の第1体育室が耐震改修工事のため使用できないことから、今年度は会場設定が例年とは一部異なるほか、開催時間につきましても例年より短い時間での実施となっておりますので、ご承知のほどよろしくお願いいたします。

続きまして資料8「第30回市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催」についてでございますが、本事業は、広く市民の間にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供し、市民一人ひとりがその活動の振興に貢献することを目的として開催しており、今年度は総合開会式を6月23日の日曜日午前10時より、こちら郷土の森総合体育館の第2体育室で行います。開会式終了後には引き続き市民団体による演技種目の発表が行

われるほか、その後約2か月に渡りまして記載の14の競技種目が実施される予定となっております。その多くが小・中学生も参加できるものとなっております。なお、詳細につきましては2件ともそれぞれ資料に記載のとおりでございますが、委員の皆様にもぜひご臨席いただきたくご案内申し上げます。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまの2件につきましてご質問、ご意見ございますか。

松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 質問と意見1つずつですけれども、時間が短くなったのは第1体育室が使えないからだけなのでしょうか。それとも今まで3時ぐらいだったと思うのですけれども、来年以降使えたときは時間を戻すのか、それとも、各団体から「長い」とかそういうのがあって短くした等、そういうのを考慮してなのかというのが質問です。

○スポーツ振興課長補佐（青木達也君） 時間の関係ですけれども、1点目の理由としましては、ご指摘のとおりです。今回第1体育室が使えないという条件のもと開催に当たって、やはり例年よりも短い時間にさせていただきたいというお話があったのが1点。あとボールふれあいフェスタにつきましては実行委員会形式で企画をさせていただいているのですけれども、そちらの中には各トップチームからも委員を輩出いただいております。トップチームから、選手を拘束するという形になりますので、ちょっと時間を短くしてほしいといったご意見もありましたことから、今回短くした経緯がございます。このことから次年度以降も、その実行委員会内のトップチームのご意向を確認しながら、時間は決めていくものと考えてございます。

○委員（松田 努君） ありがとうございます。わかりました。あと、意見ですけれども、タイムスケジュールが載っていませんでした。那須前委員がエキシビションとかそういうのは何時からやるのか載せてほしいと言っていたと思うのですけれども、しっかり載っているのよかったですと思います。ありがとうございます。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは報告・連絡（7）と（8）について了承いたします。



◎府中市立図書館サービス検討会議報告書について（第四期）

○教育長（浅沼昭夫君） 報告・連絡（9）を図書館、お願いします。

○図書館長補佐（平野妙子君） それでは、図書館よりお手元の資料9に基づき「府中市立図書館サービス検討会議報告書（第四期）」につきましてご報告いたします。

当会議は、図書館サービスの向上を目的とし、行政のサービス提供のあり方について、図書館サービスを検討する会議として設置しておりますが、前年度に附属機関でございます図書館協議会の設置を予定したことから、昨年度に当会議の要綱を改正いたしまして、委員の任期を2年間から1年間に定めております。A3横の検討会議の運営報告一覧をお開きください。

こちらは平成30年度に開催いたしました3回の同会議の中で、各回に掲げた議題について委員の皆様からいただいたご意見等をまとめたものでございます。内容といたしまして、

第1回では初回ということで平成29年度府中市立図書館の事業概要を説明させていただいた後、市立図書館に関する全般的な意見を頂戴しております。第2回は図書館の高齢者サービスについて、第3回は毎年実施しておりますルミエール府中利用者アンケートについて、それぞれご意見を頂戴しております。

また、会議の運営報告一覧の後に資料として当会議の要綱と委員名簿を掲載しております。なお、要綱に記載してありますとおり、同会議は平成31年3月31日をもって廃止としております。なお、この報告書は市及び図書館ホームページで公開し、中央図書館、白糸台図書館、西府図書館、市政情報公開室で閲覧を行う予定でございます。

報告は以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） 何がお質問、ご意見ございますか。日野委員、どうぞ。

○委員（日野佳昭君） 検討委員会での四期中の報告3件あるのですけれども、これはそれぞれこのとおりにやっていく予定があるのですか。また、最後の行、保育園から図書館への遠足を推進してほしいと書いてありますが、保育園から図書館への遠足をやっていくのですか。

○図書館長（酒井利彦君） 遠足ということでもないのですが、遠足のついでに文化センターに寄ったときに地区図書館のほうをのぞいて、いろいろと本を見ていただくというようなことはいくつかあったということで聞いておりますが、これは保育園側の意向もございまして、できれば今やっている事業としては、こちらから保育園のほうに出向いて読み聞かせやストーリーテリングのようなことをやっていきたいなということになったと記憶しております。

○委員（日野佳昭君） 保育園から図書館へ遠足ではなく、そちらから行ってくれるのであれば特に問題ないと思います。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

それでは報告・連絡（9）について了承をいたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他ですけれども、何かございますか。

○給食センター所長（谷本耕一君） 給食センターから1件ご報告いたします。資料はございません。

令和元年5月17日に提供いたしました給食において、献立の一部提供を中止いたしましたのでご報告させていただきます。小学校ABブロックの献立、豚肉のパインソースを調理中に、豚肉に付着した金属片を調理員が発見し、現場の栄養士が現物を確認いたしました。直ちに豚肉の納入業者に電話確認したところ、包丁の刃先が欠けているとの報告があり写真をデータで送るように指示、届いた写真データと発見された金属片を照合したところ、形状が異なっていたことから再度業者に連絡し、ほかに使用した刃物がないか確認するように指示したところ、スライサーの刃が欠けているのを発見したとの報告があり、再び写真データを送付するように依頼いたしました。届いた写真データと金属片を確認いたしました。現物同士を照合したわけではないので明確な判断ができないこと、また、包丁のかけらが食材の中に混入している可能性もあったことから、児童の安全を第一に考え、豚肉のパインソー

スの提供を中止する判断をいたしました。なお、代替品として海苔の佃煮やふりかけの提供も検討いたしましたが、約7,000個を急遽用意することができないこと、また、アレルギー物質が入っている可能性もあることから、代替品の提供をすることなく給食を提供いたしました。直ちに該当する、三小、住吉、矢崎、四谷、南町、日新、一小、五小、七小、九小、武蔵台、本宿小学校の12校の校長先生へ電話連絡を、献立の一部提供を中止する旨の通知をFAXとメールで送信し、あわせて保護者宛てに異物混入のお詫びの手紙を作成し、学校からの配布をお願いし、対応をしていただきました。

本日現在、保護者からの問合せは当日の夜に1件あったのみで、代替品の提供はできなかったのかという内容でございました。当日の午後に業者が来所し、持参した刃のかけたスライサーと金属片を照合したところ一致し、包丁については調理用のものではないとの報告を受けましたが、業者の不適切な管理体制であることを指摘し、顛末書を提出するよう嚴重注意を行い、翌日から同業者との取引は中止をさせていただいております。このことから他の納入業者にも食材の安全管理を徹底するよう周知を図ったところでございます。

最後に、対象となった児童並びに教職員等の方々には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、再発防止に努め、今後も安全な給食の提供に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○教育長（浅沼昭夫君） メインディッシュが提供できなかったことは、子どもたちには大変申し訳なかったのですけれども、そういう状況でした。安全第一で対応しようということで、そういう対応をしました。何かご意見等ございましたらお願いいたします。新島委員、どうぞ。

○委員（新島 香君） 7,000食という大変多くの人数の調理の中で、調理員さんがこの破片を見つけてくれたというのは、本当に日々注意しながら調理のほうに当たってくださっているのだろうなと感謝の気持ちになりました。本当に子どもの口に入らなかったのが何よりも幸いなことだと思うのですけれども、こういった業者さん、ほかにももしかしたらあるのかもしれないと思いますので、再発の防止のほうにはくれぐれも力を入れていただきたいなと思います。よろしく申し上げます。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。いなかでしょうか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況につきましては、別紙の令和元年第5回教育委員会定例会教育委員会活動報告書のとおりでございます。なお、この報告書は、平成31年4月13日から令和元年5月17日までの活動内容となっております。

私からは特段の報告はございません。以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況につきましては別紙のとおりでございます。

まず松田委員、お願いします。

○委員（松田 努君） 教育委員の仕事ではないのですけれども、5月18日に多摩川清掃市民運動に参加しました。私はここ10年ぐらいしか知りませんが、46回も行われている行事です。ここ数年は中学生、小学生、未就学児の参加者も、年によって違いますけれども、約800から1,000人も参加していると聞きました。多摩川のごみを拾ってくれて、子どもたちも拾ってくれています。拾われているごみを見るたびに「よくこんなにあるな」とは思いますけれども、学校での清掃やごみ拾いなどもあると思いますが、また違った感覚でこの多摩川清掃を経験して、いろいろなことを感じてもらった子どもたちは、ごみをポイ捨てるようなことはないと思いますし、不法投棄をするような大人にはならないのではないかと強く思っています。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続きまして日野委員、お願いします。

○委員（日野佳昭君） 今回は特に報告はございません。なので、私のほうから最近の子宮頸がんワクチンの予防接種における知見についてお話しさせていただきます。

子宮頸がんワクチンというのは2013年から日本で定期接種となって、小学校6年生から高校1年生の女子を対象に6か月間に3回打つ予防接種でしたが、接種後すぐに長期的な痛みやしびれなどが相次ぎまして、2か月であつという間に積極的勧奨が中止されております。子宮頸がんというのは国内で年間約1万人が発症しまして、毎年2,700人が死亡している大変な病気です。30代後半から40代で多くが発症します。世界ではワクチンの有効性と安全性が認められまして120カ国以上で行われ、世界保健機構（WHO）や外国からは今の日本の対応については批判が相次いでおります。

副反応の発生数は、100万回で約40件でした。同時期に開始された肺炎球菌ヒブワクチンの発生数は100万回で25件ということで頻度はそれほど多くないのですが、副反応の症状は、痛みのほかに月経異常や記憶力、注意力の低下など多様ですが、重篤なものも一部認められています。現在まだ接種と症状の因果関係は証明も否定もされていません。現在ワクチン接種が激減して6年が過ぎましたが、最近徐々に医療関係者を中心に接種者が増えています。定期接種期間が過ぎますと任意接種となり自費となります。情報が入らずマスコミ報道を見て、しかも政府も推奨してないなら接種しないと考える人がほとんどです。世界中で安全性と効果が非常に認められてきたワクチンです。接種対象者に正確な情報を提供し、効果とリスクを理解していただき、そして、接種を希望する人に過度な不安感を与えず、自ら接種することを判断できるように今後しなければならぬと考えています。

一部自治体では、最近子宮頸がんワクチンの接種の情報を小学校6年生または高校1年生に個別に流しています。府中市でも今後考慮すべきことだと考えております。

報告については以上です。

もう1つ、先ほどの保育園の遠足の話なのですけれども、最近マスコミでいろいろ子どもたちの交通事故が増えております。横断歩道を渡っていても突っ込んでくるということで、教育委員会の直接の仕事ではないとは思いますが、学校関係者とよくご意見を聞いて、警察等と府中市内の交通安全についても一度考え直してみるようにすべきだと思います。東京都からも多分要請が来ると思いますので、ちょっともう1回考えてみたらどうでしょうか。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは続きまして、平原委員、お願いします。

○委員（平原 保君） 5月11日（土）に府中市美術館を訪れて、「へそまがり日本美術展」を鑑賞しました。「日本美術の新たな味わい方、楽しみ方が見えてくる」ということを実感しながら貴重なひとときを過ごすことができました。私が、大好きな若冲とは異なる作風の作品、応挙と蘆雪を比較して鑑賞できる作品など、心揺さぶられる数々の作品に出会うことができました。また、会場内は多くの方々が熱心に鑑賞していました。中でも、親子で来ていた小学低学年くらいにお子さんが、鑑賞カードを持って作品にじっと見入っている姿が、特に印象的に残りました。

当日は、本企画展最終日の前日でしたが、美術館エントランスホールは、入場券購入の行列、入場を待つにも長蛇の列ができる盛況ぶりでした。私は入場券を持っていましたが、最後尾から、入場までおよそ25分間の待ち時間後、エスカレーターに乗り入場できました。こうした会場の様子から、本企画展への関心と期待の高さを感じることでできました。

また、明後日（5月25日）から始まる「棟方志功展」においても、美術鑑賞教室で鑑賞する子どもたちをはじめ、多くの来館者が感動されることと思います。

令和元年度・府中市立小中学校の先陣をきって、5月18日（土）に開催された府中十中の運動会を参観しました。私は、谷保駅から歩いて十中に向かいましたが、学校に近づくと校庭周囲のネット越しに、校舎に大きく掲げられたスローガン「獅子奮迅」が、目に飛び込んできました。大胆な獅子の絵と迫力のある文字。正門に足を踏み入れる前から、生徒たちが運動会にかける意気込みが伝わり、運動会への期待が高まってきました。

私は、開始時刻より早めに到着しましたが、生徒・職員・PTAの皆さんにより諸準備が整然と進められ、定刻通りに開始となりました。生徒たちは出場種目に全力を尽くし、仲間が活躍する勇姿を精いっぱい応援し、スムーズな運営に主体的に取り組んで、正に全生徒が「獅子奮迅」の活躍ぶりでした。こうして生徒たちが活躍する姿を、たくさんの保護者・地域の方々温かく見守り、励ましのお言葉と熱い声援を送っていました。

生徒一人一人が、運動会の準備・練習から当日への取組みを通して、心身ともにたくましく成長できたことを推察できました。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは新島委員、お願いします。

○委員（新島 香君） 教育委員会活動報告のほうに載っています4月16日に平成31年度教育施策連絡協議会に参加したことについて報告させていただきます。

小学校、中学校、高校、あと特支の管理職の先生と教員がパネルディスカッションをしていらっしやいまして、現場の先生方が抱える不安やご苦勞など生の声を聞くことができ大変有意義でした。特に若手の教員が授業準備など自分の行っていることが正しいのかわからず、不安をお持ちになっていること、学校にいて不安が和らぐとおっしゃっていたのが特に印象的で、私も新入社員の頃はそうだったかなと感じました。

民間企業だったら世話人となる先輩がついて、社内のどこに何があるのか、コピー機の使い方、コーヒーメーカーの使い方、お客さんのお名前やどのような方か、また書類の作り方や宴席の対応の仕方まで事細かく仕事をフォローしてもらえますけれども、職員室のほうでは新規採用の先生に対してもそこまで体制指導やフォローをする余裕はちょっと難しいのか

なということや、教育センターから指導の先生方もいらっしゃっていますけれども、若手教員が日々の小さな不安をタイムリーに相談できる等、学校内で組織的に若手教員の育成をバックアップする仕組みがもう少し整っていると、精神的にゆとりができて少し早く帰ろうと時短につながる1つの手になるのかなと感じた協議会でした。

次に、4月24日に出席してまいりました東京都市町村教育委員会連合会第1回理事会についてご報告させていただきます。新理事が私、新島を含めて4名おりました、それぞれ自己紹介した後に、定期総会について書類の確認や議案の承認を行いました。また、東京都市町村教育委員会連合会表彰と被表彰者及び全国市町村教育委員会連合会の表彰について確認がありまして、東京都市町村教育委員会連合会役職表彰並びに全国市町村教育委員会連合会会員表彰に本市前委員の崎山先生と齋藤先生が選出されておりましたので、ここにご報告申し上げます。

私の報告は以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。ただいま報告がありました新規採用の教員につきましては、OJTで指導する先生を専任しまして、その中でさまざまなことについて指導するという仕組みは数年前から行われているのですが、やはりそれでもまだ十分かどうかということはまた別の問題かなと思います。いただいたご意見を参考にしながら丁寧に後進を育てることが求められますので、また、指導室と相談しながらやっていけたらと思っております。ありがとうございました。

それでは、ここで定例会を中断いたしたいと思えます。恐れ入りますが、傍聴者及び説明員などの関係者以外は申し訳ございませんがご退席をお願いいたします。

午後2時52分中断

_____ ◇ _____

午後2時53分再開

_____ ◇ _____

◎いじめの重大事態に関する報告について

(非公開会議により非公開)

○教育長（浅沼昭夫君） それではこれで令和元年第5回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

_____ ◇ _____

午後3時03分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

令和元年9月12日

府中市教育委員会教育長

浅沼 昭夫

府中市教育委員会委員

平原 保